

大津小学校版学びの手引き【家庭版】

これまでの校内研での取組や各学年部の取組を、大津小全体で取り組んでいけるようまとめました。

＜授業＞45 分間の授業をフル活用しましょう。

授業のはじまりと終わりのあいさつは、休み時間と授業の切り替えにもなります。チャイムに始まり、チャイムに終わるということを教師も児童も意識できるようにしましょう。

<p>始まりと終わりのあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム1分前には着席 ・チャイムと同時に授業を始める・終わる <p><u>始めのあいさつ</u> 基本的に全員座った状態であいさつをする。 日直：「気をつけ、（教室が静かになってから）お願いします。」 気をつけの姿勢 1・2年生→手は後ろで組む。 3年生以上→手はモモに置く。 全員：「お願いします。」</p> <p><u>終わりのあいさつ</u> 基本的に全員座った状態であいさつをする。 日直（2人の場合はどちらか一人）がその時間の授業の振り返りを発表する。 日直：「今日は、〇〇について学習しました。△△がわかりました。今度は□□について考えてみたいです。／〇〇さんの◇◇という考えを聴いて私は□□だと思いました。」など 「気をつけ、（教室が静かになったら）ありがとうございました。」 全員：「ありがとうございました。」</p>				
<p>板書について めあて めあて まとめ ふりかえりなど</p>	<p><u>めあてやまとめの書き方</u> めあて・まとめは黄色のチョークで書く。（定規等で囲まない） 児童のノートにはめあては赤、まとめは青の下線を引く。</p> <p><u>ふりかえりの視点（5分は確保する）</u></p> <table border="1" data-bbox="336 1294 1474 1921"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1294 906 1346">低学年（1～3年生）</th> <th data-bbox="906 1294 1474 1346">高学年（4～6年）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1346 906 1921"> <p>㊦っ！わかった（わからなかった）</p> <p>㊦っ！なるほど！</p> <p>（友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど）</p> <p>㊧ 次につなげよう</p> <p>（次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと）</p> </td> <td data-bbox="906 1346 1474 1921"> <p>「熊本の学び」の視点から選んで、ふりかえって書く。</p> <p>① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。）</p> <p>② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？</p> <p>③ 何ができるようになったか？なぜ、できなかったのか？</p> <p>④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？</p> <p>⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？</p> <p>⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？</p> <p>⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？</p> <p>⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？</p> <p style="text-align: right;">熊本の学び推進プランより</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>ふりかえりは毎時間行う。タブレット等を使い、ふりかえりの共有を行う。</p> <p><u>児童の発表</u> 発表をするときは、指示棒を使って児童が説明をする。（指示棒は各教室に設置）</p>	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年）	<p>㊦っ！わかった（わからなかった）</p> <p>㊦っ！なるほど！</p> <p>（友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど）</p> <p>㊧ 次につなげよう</p> <p>（次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと）</p>	<p>「熊本の学び」の視点から選んで、ふりかえって書く。</p> <p>① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。）</p> <p>② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？</p> <p>③ 何ができるようになったか？なぜ、できなかったのか？</p> <p>④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？</p> <p>⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？</p> <p>⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？</p> <p>⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？</p> <p>⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？</p> <p style="text-align: right;">熊本の学び推進プランより</p>
低学年（1～3年生）	高学年（4～6年）				
<p>㊦っ！わかった（わからなかった）</p> <p>㊦っ！なるほど！</p> <p>（友達の考えを聴いて考えたこと・考えが変わったことなど）</p> <p>㊧ 次につなげよう</p> <p>（次の時間に考えてみたいこと・わからなかったこと・やってみたいこと）</p>	<p>「熊本の学び」の視点から選んで、ふりかえって書く。</p> <p>① “いいな！”と思った友達の考えは何か？ （“いいな！”の観点は、その時の学習のめあてや中心発問に対応して変わります。）</p> <p>② “納得できなかったこと”や“分からなかったこと”は何か？</p> <p>③ 何ができるようになったか？なぜ、できなかったのか？</p> <p>④ 学習の前後で自分の考えや態度がどのように変わったか？</p> <p>⑤ “新たな問い”や“課題”は何か？</p> <p>⑥ “新たな問い”や“課題”をどのように解決したいか？</p> <p>⑦ “学んだこと”や“気付き”を、生活や次の学習にどう生かすか？</p> <p>⑧ 家庭学習で何を調べてみたいか？</p> <p style="text-align: right;">熊本の学び推進プランより</p>				

<聴き合う関係づくり・学び合いのコーディネート>

・「発表をつなげよう」カードの活用

児童に使ってほしいフレーズを黒板に貼るようにし、児童に意識づける。

・いいね！の反応デパート

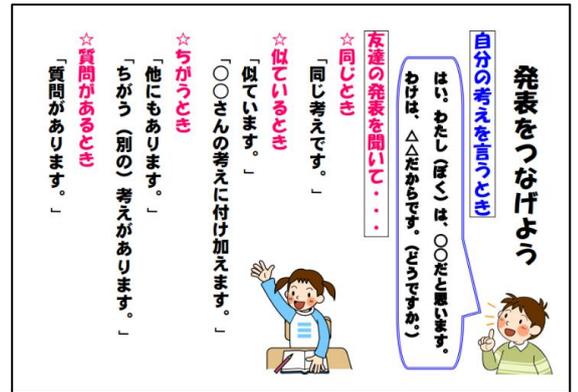
児童が使えるようになった反応フレーズは、教室横に掲示する。

・学び合いの時間の確保

1時間に3回は「ちょっと近くの人と話してみよう」と学び合いの時間を確保する。教師が解説する時間を減らす。

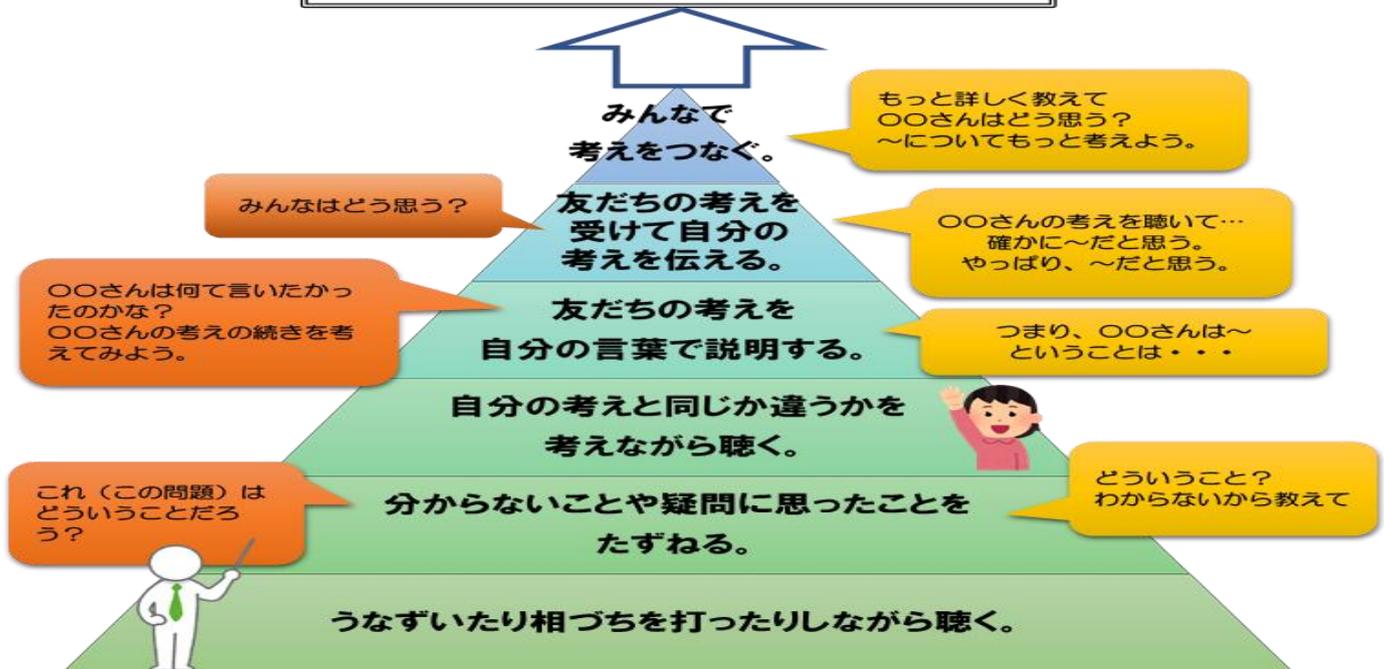
・問い返し

「どういうこと?」「どう思う?」「本当にそう?」「なぜ?」などの子どもの思考を促す問い返しを行う。



3～6年生用教室掲示

夢中で学び、高め合う児童



<学習環境>

各学年の使用ノート(令和3年度)

	国語	算数	漢字	自学	その他
1年	8マス→10マス	10マス(横)→縦	50字	プリント	
2年	12マス	14マス	84字	15mm方眼	道徳・音楽
3年	15マス	17マス	91字	12mm方眼	道徳・総合・体育
4年	5mm方眼	5mm方眼	104字	5mm方眼	道徳・総合
5年	5mm方眼	5mm方眼	104字	5mm方眼	道徳・総合・家庭科
6年	5mm方眼	5mm方眼	120字	5mm方眼	総合・学活・道徳・家庭科

※専科のノートについては省略

国語辞典の常設

わからない言葉が出てきたときに、いつでも辞書を引いて調べられる環境づくりを目指します。



机の横にバッグに入れて下げておく。

(4年生以上)

※3年生は国語辞典の学習をしてから。

1・2年生は、教室に国語辞典を1冊常設し、担任が児童に代わって辞書を引きます。

特別支援学級教室では、児童の実態に応じて、児童とともに辞書を引いたり、担任が辞書を引いたりします。

週に1回は国語辞典を活用する場面を作りましょう!

※毎年、各家庭に国語辞典の準備のお願いのプリントを配付しています。3年生には国語辞典の学習後に配付します。

<家庭学習>

<p>家庭学習チャレンジカード</p>	<p>・1・2年生は家庭学習の習慣づけのため、家庭学習チャレンジカードを活用する。</p> <div data-bbox="507 972 1270 1352" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">かていがくしゅう 2しゅうかんの けいさんカード (1ねん生)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">できなかった×(0ポイント)、できた○(1ポイント)、スマホ等のやくそくもポイントに入れます。</th> </tr> <tr> <th></th> <th>かていがくしゅうで すること</th> <th>○×</th> <th>おおづち ポイント</th> <th>家の人のサイン(白紙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">18日 (月)</td> <td>プリント1まい</td> <td></td> <td rowspan="5">OP (2ポイント)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>音どく下 (P67からP71まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいさんカード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>かん字ノート1ページ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スマホ、タブレット、ゲームのやくそく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>じ学プリント (よゆうのある人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">19日 (火)</td> <td>プリント1まい</td> <td></td> <td rowspan="5">OP</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>音どく下 (P72からP74まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいさんカード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>かん字ノート1ページ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スマホ、タブレット、ゲームのやくそく</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	かていがくしゅう 2しゅうかんの けいさんカード (1ねん生)					できなかった×(0ポイント)、できた○(1ポイント)、スマホ等のやくそくもポイントに入れます。						かていがくしゅうで すること	○×	おおづち ポイント	家の人のサイン(白紙)	18日 (月)	プリント1まい		OP (2ポイント)		音どく下 (P67からP71まで)		けいさんカード		かん字ノート1ページ		スマホ、タブレット、ゲームのやくそく		じ学プリント (よゆうのある人)			19日 (火)	プリント1まい		OP		音どく下 (P72からP74まで)		けいさんカード		かん字ノート1ページ		スマホ、タブレット、ゲームのやくそく	
かていがくしゅう 2しゅうかんの けいさんカード (1ねん生)																																													
できなかった×(0ポイント)、できた○(1ポイント)、スマホ等のやくそくもポイントに入れます。																																													
	かていがくしゅうで すること	○×	おおづち ポイント	家の人のサイン(白紙)																																									
18日 (月)	プリント1まい		OP (2ポイント)																																										
	音どく下 (P67からP71まで)																																												
	けいさんカード																																												
	かん字ノート1ページ																																												
	スマホ、タブレット、ゲームのやくそく																																												
じ学プリント (よゆうのある人)																																													
19日 (火)	プリント1まい		OP																																										
	音どく下 (P72からP74まで)																																												
	けいさんカード																																												
	かん字ノート1ページ																																												
	スマホ、タブレット、ゲームのやくそく																																												
<p>計画的に取り組む</p>	<p>・家庭学習を始める時刻、取り組む順番を決めて取り組む。 ・自主学習の内容に見通しを持って取り組む。 例：テストがあるから、○曜日はまとめをする など</p>																																												
<p>自主学習</p> <div data-bbox="124 1720 464 2002" data-label="Text"> <p>ノートを使う学年は、1年間で1冊は終わらせられるように、1年生はプリント10枚は終わらせられるようにしましょう。</p> </div>	<p><形式> ノートに必ず、日付・めあて・ふりかえりを書く。 <開始時期・頻度> 1年・・・後期からスタート 2年・・・4月にノートを活用してスタート 後期からは週末に全員1ページはする。 3・4年・・・毎週末見開き1ページ/余裕のある人は平日も行う 5・6年・・・毎日1ページ 各学年が決めた目標(ノート1冊・10ページなど)に到達したときには、校長先生のもとに持っていく。 全校で自学ノート持参数累計1000人を目指す。</p>																																												

